

① 基本事項	計画コード		22097		事業名		行政情報番組提供事業		評価分類		A1			
	事業手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()											
	施策体系	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化					予算科目	会計	01:一般会計				
		基本施策	02:市民参画・交流活動の促進と協働の推進						款	02:総務費				
		施策の方向	03:広報・広聴の充実						項	01:総務管理費				
重点プロジェクト		-					目		02:広報活動費					
事業期間		H 15 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		-								
② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)							
	市の施策や魅力を市民に理解してもらい、主体的にまちづくりに関わる人を増やすため、動画の特性を生かした市民参画によるケーブルテレビ放送によって、分かりやすい情報発信を行う。		市民		ケーブルテレビ放送を通じた情報発信により、市民が行政情報をより理解するとともに、番組制作により多くの市民が関わることで、まちづくりに対する市民参画意識が高まる。		動画の特性を生かし、市の施策や事業、イベント情報等をコンテンツとした番組を毎週制作し、ケーブルテレビで放送する。また、広報サポーターや学生アナウンサーなど、市民参画により、親しまれる番組を制作する。							
③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度					
	事業計画		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○広報サポーター等の活用		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○広報サポーター等の活用		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○広報サポーター等の活用		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○番組及び文字情報放送機器等の更新 ○広報サポーター等の活用、スタジオ改修					
	活動実績 (計画通り実施できたか)		新型コロナ関連の補助制度の紹介など、年間53週分の番組を制作・放送した。番組司会以外でも広報サポーターの出演等(16回)により番組制作を行った。特集番組では、駅前再開発事業の完成や亀山ブランド第2弾の決定とともにそれらに関わる人々の姿やコメントを紹介する番組を制作した。文字情報は、定期放送174件、選挙情報を随時放送した。		市内の行事や市の事業の紹介など、年間52週分の番組を制作・放送した。番組司会以外で、広報サポーター(アナウンサー)の出演等(17回)により番組制作を行った。特集番組では、コロナ禍を経て再開された灯おどりや獅子舞の取り組みとともにそれらに関わる人々の姿やコメントを紹介する番組を制作した。文字情報は定期放送200件、災害等情報を随時放送した。									
	計画額	事業費	22,400千円		22,300千円		22,200千円		22,100千円		22,400千円		22,700千円	
			国・県支出金	0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		
			地方債	0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		
			その他	0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		
			一般財源	22,400千円		22,300千円		22,200千円		22,100千円		22,400千円		22,700千円
	決算額	事業費	21,936千円		21,763千円									
			国・県支出金	0千円		0千円		0千円		0千円		0千円		
地方債			0千円		0千円		0千円		0千円		0千円			
その他			0千円		0千円		0千円		0千円		0千円			
一般財源			21,936千円		21,763千円									
①期間内計画額(R4~7)		89,700千円		②期間外計画額(R8~)		0千円		①+②総計画額		89,700千円				

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	22,100千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	年間番組制作数	毎週1回更新	活動	番組	計画値	53	52	52	52
					実績値	53	52		
	番組制作への市民参画数	広報サポーター(番組アナウンサー)、学生アナウンサー、市民活動団体等の番組出演回数	成果	件	計画値	65	65	65	65
					実績値	69	69		
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	市内各地でのイベントや行事、市の事業・取組の紹介、また園児の活動の様子などの番組を編成するとともに、広報サポーター(43回)や学生アナウンサー(小学生:2回、中学生:3回、高校生:4回)の出演等により、市民に親しまれる番組づくりにつなげることができた。また、コロナ禍を経て再開された灯おどりや獅子舞に関わる人々に番組制作に参画いただくことで、まちの魅力の発信とともに、まちに対する愛着の醸成につなげることができた。
	十分な成果を得た

事業の対象	事業の目的
市民	ケーブルテレビ放送を通じた情報発信により、市民が行政情報をより理解するとともに、番組制作により多くの市民が関わることで、まちづくりに対する市民参画意識が高まる。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	市民参画・交流活動の促進に向けて、広報サポーターや学生などの出演による番組づくりを継続し、幅広い世代に親しまれる番組放送を行う必要がある。また、引き続き、市の新たな魅力を発信する番組や、節目の行事・取り組み等の取材を通じて、本市の魅力である人同士のつながりを感じてもらえるような番組を制作する必要がある。

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性			
	継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する			
	改善・見直し内容			
	<table><tr><th>令和6年度で対応する(した)もの</th><th>令和7年度以降で対応するもの</th></tr><tr><td>広報サポーターの募集を行い、市民参画による番組制作を行う。亀山公園の大型複合遊具を新しい魅力として紹介する動画を制作する。また、かめやま文化年や伝建40周年の取組紹介とあわせて関係者の取材を行い、地域資源と人のつながりをまちの魅力として紹介する。</td><td>まちづくりに対する市民参画意識を高める取り組みの一つとして、広報サポーター制度の運用や学生アナウンサーの起用を継続する。また、市民がまちの魅力を再認識し、まちに対する愛着や誇りが高まるような番組を制作する必要がある。</td></tr></table>	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの	広報サポーターの募集を行い、市民参画による番組制作を行う。亀山公園の大型複合遊具を新しい魅力として紹介する動画を制作する。また、かめやま文化年や伝建40周年の取組紹介とあわせて関係者の取材を行い、地域資源と人のつながりをまちの魅力として紹介する。
令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの			
広報サポーターの募集を行い、市民参画による番組制作を行う。亀山公園の大型複合遊具を新しい魅力として紹介する動画を制作する。また、かめやま文化年や伝建40周年の取組紹介とあわせて関係者の取材を行い、地域資源と人のつながりをまちの魅力として紹介する。	まちづくりに対する市民参画意識を高める取り組みの一つとして、広報サポーター制度の運用や学生アナウンサーの起用を継続する。また、市民がまちの魅力を再認識し、まちに対する愛着や誇りが高まるような番組を制作する必要がある。			

【履歴】	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	政策部 広報秘書課 広報GL 波多野 祐一
最終評価者	政策部 広報秘書課長 末崎 照美